

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉 () は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(1)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0734.94	4. <小さい時は言ったかもしれない、内地から来た人は言う、人ぢひやぢされたのを聞いた>	
0894.61	1. <昔は>・<今>言わない。	
1744.60	2. <おけると言うのが本当のようだが、おちるとい>	
1793.14	4. <古>	
3689.75	4. Oririu という。	
3699.55	4. オリル, オレルという。	
3715.51	2. (ただし, Ordziru である)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(2.)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3725.77	4. <オリル>	
3733.22	4. 隣村の谷内ではい。	
3733.88	1. <少い>	
3742.82	4. Orlɯ	
3747.91	4. <オッタとはいうようである>	
3757.31	4. <オリル>	
3770.62	4. Orirɯとい。	
3771.97	4. Orɯrɯとい。	
3783.11	4. オレルとい。	
4598.59	4. <オリルとい>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(3)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4637.20	1. 但し odziru, otjiru, oriru<共>という言い方である。	
4638.43	2. 連用形は Otte(下りて)	
4647.69	1. (ただし otiru というような発音である。) <完了形は otta である>	
4647.87	2. 連用形は「エマ ホテキダセ」(今降りて来たせ)	
4648.04	1. (otjiru と書く)	
4648.42	1. 但し otta<落った>という語を得たのみで終止形の発音が otjiru である ^せ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(4)
オチル(降りる)			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	odjiruであるかはたしがわっていない。	
4648.59	2. (Ojiruと云う)	
4666.99	4. (Ojiruという)	
4667.33	1. 但しオジル, オチル等という。オナテキタ, オッテキタ, オリテ等と云う。	
4667.76	2. 過去完了形はOttiraと云う。命令形はodjire	
4669.55	4. <少数いう人もあり>	
4676.39	4. 降りる = (Ojiru)	
4676.60	4. (Ojeruと云う)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4678.71	4. Kijakara ottja 降りた 〃 otsita 落ちた	
4678.77	4. <昔の老人は言っただりしれない>	
4685.10	4. (oreruという)	
4685.28	4. oreruと云う。	
4686.96	4. oreruと云う。	
4687.37	4. oriruという。	
4694.26	4. <oreruという>	
4695.19	4. オレルと云う。	
4695.21	4. oreruと云う。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6.)
オチル(降りる)		201S	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4700.37	4. <オリルという>	
4703.88	4. ただし、「木から降りる」という場合には odz+ 降 ^下 と言う。〔?〕	
4706.84	1. <ただし、舟からオチルとは言わない。 アガルと言う>	
4710.55	4. <但しオリタというときは oddaという。 オリルトキは oriddog<	
4711.41	4. <オリルという。>	
4713.45	4. (?)	
4716.72	1. <古>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	(7)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オチル(降りる) 2015			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4723.58	1. <u>1 (あやまって落ちる場合にも使う)</u>	
4726.80	4. <ほかの町では言うようであるが、この集落では言わない。>	
4730.45	2. オッジャ(降りた)、オストキ(降りる時)とい 言い方をちるが、<オスル>という言い方(辞書) はないとい。	
4731.15	4. o'dd ^o と 言う。	
4740.93	1. <但しオリルもつかう>	
4745.27	4. <ajar ^o と 言う> <乗るの反対は舟だけ でなく、汽車でもバスでもアカル と 言う。>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(9.)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5612.98	4. <Oriruと云う>	
5615.20	4. Oreruという。	
5615.65	4. "	
5703.68	1. <落ちるは okkot(siru)>	
5712.70	1. [落ちることを okkot(siru)]	
5732.17	4. <昔, ひとりのころは言, ちおほえもある。 他の人も今は使わないうた。>	
5741.25	4. 別に調査した他の被調査者=おひは言。	
5742.65	1. 今はふつう「降りる」を使う。以前=はおちるもあつた。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は敢密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(10)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5790.79	↓ 「おりる」と言う。	
5793.20	4. (小学校の校長によれば「言う」)	
6439.77	4. オリル	
6449.19	4. 。	
6458.08	4. 。	
6458.40	4. 。	
6469.77	4. 。	
6541.66	4. 。	
7229.50	4. Orituという。	
7229.75	2. <落ちるはウチユ>で、下りるはオジルである	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	(11.)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オチル(降りる)		201S	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	オジラニ ^ニ テ, オジ ^ク タ ^ハ ト ^ト 使 ^ウ >	
7239.24	2. 「落ちる」は <u>u'tja'eru</u>	
7258.82	4. <oretāと ^ウ >	
7259.98	4. oretāと ^ウ	
7266.09	4. <oretāと ^ウ >	
7269.96	4. oruruである。	
7279.93	4. (過去 は oretāと ^ウ)	
7301.67	4. ôrîrūと ^ウ 。	
7302.66	4. "	
7302.87	4. oreru, oruruと ^ウ	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は段密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
20 S	94	(B 除いた共通語)	(12)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7320.59	4. Oiruruという。	
7322.81	4. <Oiruruという>	
7324.24	4. オリルという。	
7330.31	2. <u><オチるはやはり Oiruruである></u>	
7350.96	4. <オイタ>	
7352.61	2. <u><墜ちるは オツ、オツルという。></u>	
7352.97	2. <オリランカ という。>	
7363.12	<u><おちる)は オツ、オツルを用いる。></u>	
7363.59	2. <オリランカ オリル という>	
7364.34	4. <オデツ)と云々ない>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 201 S	地図番号 94	A 普通注記	ページ
項目名 オチル(降りる)		[B 除いた共通語]	(13)
2015		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7370.16	4. oretaという。	
7374.15	2. <オズルとは昔からいう。今はオチルが多 い> [オジツ, オズルともいう]	
7374.75	2. <u>「おちる」は「オツツ」である</u>	
7381.47	2. <u><おちるといふ意味の時はオツツ オチテト という></u>	
7382.97	2. <u><墜ちるはオツツ></u>	
7390.75	4. <オチル>という>	
7391.01	4. <早く オレロ<命令形>, 早く オチル<命令形> のようにはいう>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は敬密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(14)
オチル(降る)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7393. 62	4. <オリルと云う>	
7396. 53	4. <oruruという>	
7421. 62	4. <oriruという。>	
7500. 66	4. <オリル という>	
8300. 11	4. <オリロ(降りよ) オルソ(降りるぞ)という>	
8302. 19	4. <降りル(降りよ)とはかり云って降ジレ、 降ジレは云わない、きいたことのある 程度>	
8303. 84	4. <オシルとも云わない>	
8323. 59	4. Oj. という	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (15)
201 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名 オチル(降る)		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8345.24	4. 「下ルル」という。	
8345.74	4. 〈oruruという〉	
1167.01	4. 〈おちるは utijun というが降るの意 はない。〉	
1169.84	4. 〈「おちる」に当る語形は uti:n〉	
1231.88	4. (utirun 落ちる)	
1241.05	4. (おちるは ut'i:n)	
1241.96	4. (おちるは utirun)	
1242.22	4. (おちるは utirun)	
1251.98	4. (おちるは uti:n)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
20 S	94	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(16.)
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
1260.78	4. 〈おちるは uti:N〉	
1260.87	4. 〈 〃 iuti:N〉	
1261.80	4. 〈 〃 uti:N〉	
1270.26	4. 〈 〃 uti:N〉	
2074.69	4. 〈 〃 utiruN〉	
2075.22	4. 〈 〃 utiruN〉	
2076.25	4. 〈 〃 utiN〉	
2076.98	4. 〈おちるは utiruγ〉	
2085.69	4. 〈 〃 utiruγ〉	
2086.03	4. 〈 〃 utiruγ〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
201 S	94	(B 除いた共通語)	(17)
項目名		(C 除いた特殊語)	
オチル(降りる)		2015	

地点番号	A 語形とその注記 [(B・C 除いた語形とその注)]	A 注のない語形 [(B・C 残した語形とその注)]
2095.60	4. (<「おちる」に当る語形は utjiruN)	
2140.49	4. < " uti: >	
2140.96	4. < " utiβ >	
2141.61	4. < " utjig >	
2141.71	4. (< " utjig >	
2150.06	4. < " utjilβ >	
2150.07	4. < " utizβ >	
2150.17	4. < " utizβ >	
2151.11	4. < " uti:β >	
2151.20	4. < " uti:β >	

